

2019年1月8日

新元号対応と3次元測量機能を強化した測量CADシステム

マーキュリーワン  
「Mercury-ONE Ver.3」を2019年5月14日（火）リリース

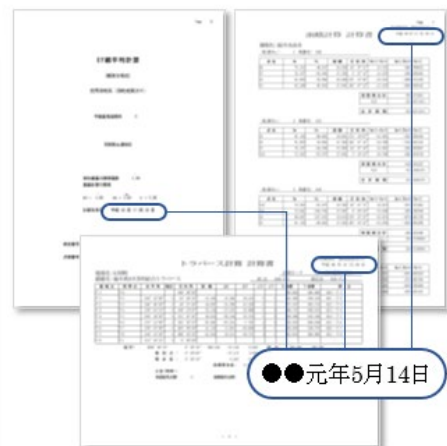
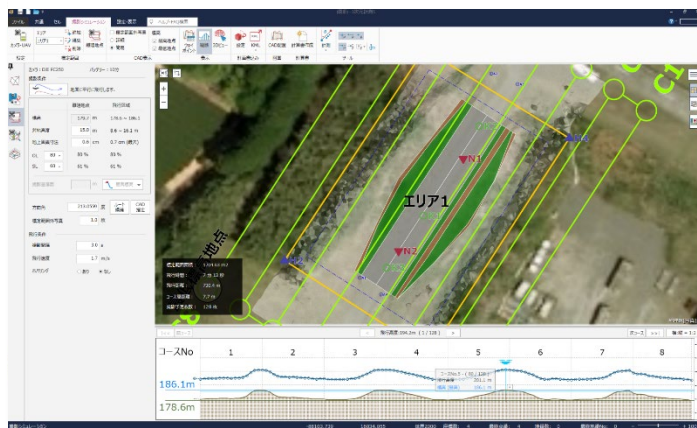
福井コンピュータ株式会社

建設業向けのトータルCADメーカー、福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）では、2019年5月1日に改正される新元号への対応と、3次元測量機能を強化した測量CADシステム「Mercury-ONE Ver.3」を、2019年5月14日（火）にリリースいたします。

測量CADシステム「Mercury-ONE Ver.3」の概要

建設業務における調査・計測・設計資料などの成果物に記載される作成日付は、契約履行を証明する上で重要な要素となっております。元号が改正される2019年5月1日以降、成果物作成日時を和暦表記する場合は新元号が必要となり、本バージョンにて新元号による表記対応を行います。

また、測量業務や出来形観測における、UAVやレーザースキャナー（TLS）を用いた3次元測量が広く普及してきており、さらなる業務効率化を支援できるよう、地表面の形状を考慮したUAV飛行計画や、出来形管理要領（土工編）帳票への対応など、様々な新機能の搭載しております。



# N E W S R E L E A S E

## ■ 新機能一覧

- 新元号対応
- 外部基準対応
  - ・ SXF 表示確認機能実装規約改訂対応（2018年10月改訂）
- 3次元計測工事測量対応 ※「UAV/TLS 計画成果」（オプション）での対応
  - ・ 出来形計測時の標定点及び検証点の設置計画
  - ・ 設計データ(LandXML)を利用した UAV 飛行計画
  - ・ 「空中写真測量を用いた出来形管理要領（土工編）（案）」各種帳票対応
- 3次元計測機能強化 ※「UAV/TLS 計画成果」（オプション）での対応
  - ・ 地形データ（3DDXF、LandXML）を利用した UAV 飛行計画
  - ・ 対地高度を一定とする UAV 飛行計画
- オープンデータ活用
  - ・ WMTS（Web Map Tile Service：地図タイルを配信する国際規格）への対応を行い、災害タイルや飛行エリアといった、国土地理院が提供する全ての地図タイルが表示可能となります。
- CAD 基本性能アップ
  - ・ CAD 描画機能拡張
  - ・ ラバーバンド視認性向上
  - ・ 3D データ作成コマンド 等

## ■ 発売日

- 2019年5月14日（火）

## ■ 価格（税抜）

- Mercury-ONE Ver.3
  - ・ 測量 CAD ￥450,000
  - ・ UAV/TLS 計画成果（オプション） ￥300,000 ※価格改定

- このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 マーキュリー事業部

Tel：03-5763-5261 東京都品川区南大井 6-16-19 大森 MH ビル 8F

ホームページ：<https://const.fukuicompu.co.jp/>